

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標	上位目標：事業対象地における母子の健康が向上する 事業目標：事業対象地における母子健康増進のための住民の行動変容が促進される
(2) 事業内容	2012 年 5 月末日までに、以下の活動を実施した。 活動 0：プロジェクトマネジメントにかかる活動 活動 0-1：省庁・郡・行政村レベルの関係者との調整 ネパールでは、NGO が事業を実施する際の行政との調整機関として、省庁レベル及び郡レベルで、それぞれプロジェクト諮問委員会結成し、定期的に協議を行うことが求められている¹。その為、2012 年 4 月 11 日には省庁レベルの CPAC 会議を開催し、本事業の活動内容について説明した。本 CPAC 会議には、以下の全構成機関から参加が得られたほか、参加者から活発な質疑応答を頂戴し、本事業に対する期待の高さを感じることが出来た。 - 社会福祉協議会 (Social Welfare Council: SWC) - 女性子供福祉省 (Ministry of Women, Children and Social Welfare: MoWCSW) - 保健人口省 (Ministry of Health and Population : MoHP) - 地方開発省 (Ministry of Local Development: MoLD) - 国家計画委員会 (Nepal National Planning Commission: NNPC) また、郡レベルでは、先行事業で結成された DPAC と本事業においても連携体制を継続維持しており、以下の DPAC 構成メンバーと必要に応じて協議を行った。DPAC 構成メンバーからは、行政主導の衛生環境整備事業との連携体制 (本事業活動 2)、保健施設のインフラ整備支援、及び保健施設管理運営委員会 (Health Facility Operation and Management Committee: HFOMC) の能力強化研修の実施 (本事業活動 3) などに、高い関心が寄せられている。 - 郡開発局長 - 郡保健局長 - 郡教育局長 - 郡事務局長 - 郡女性開発局長 - 郡 NGO 調整委員会 - 郡 NGO Federation なお行政村 (以下 VDC) レベルにおいては、各 VDC において事務局長やサブヘルスポスト (SHIP) インチャージ²を含む地元関係者と共に、事業対象地の拡大 (16 コミュニティ→36 コミュニティ) についての協議や、活動内容のオリエンテーション等を行った。

¹ 省庁レベルのものは、Central Level Project Advisory Committee (CPAC)、郡レベルのものは、District Level Project Advisory Committee (DPAC) と呼ばれる。

² サブヘルスポスト (地域診療所) の所長。

活動1：母子の健康についての知識向上及び行動変容に係る活動**活動1-1：ベースライン調査の実施**

ベースライン調査に先立ち、本事業から新規拡大する20コミュニティを5月上旬決定した。コミュニティ選出の際は、VDC職員、地元有力者及びコミュニティ住民自身が主体となり、選出プロセスを進めた。その後、選出した20コミュニティにおいてベースライン調査を開始した（5月末時点で継続実施中）。本調査に際し、ネパール人の参加型コミュニティ開発専門家を招聘し、同専門家の技術指導に基づき、質問表の作成、聞き取り調査及びデータ分析を行った。また、質問表の作成及びデータ分析については、統計専門家とも協議を行い、より精度の高いデータの入手に努めた。本調査では、サンプル抽出した800世帯（40世帯/コミュニティ×20コミュニティ）を対象に、世帯情報（民族、言語、家計等）、女性と乳幼児の健康、衛生等について聞き取りを行った。質問者は、周辺コミュニティより公募で選んだ学生等を起用しており、言語や社会背景の違いによるバイアスがかからないよう配慮した。なお、先行案件から継続して活動を行っている16コミュニティについては、先行案件の終了時調査と、2012年1月～3月に実施した参加型農村調査（Participatory Rural Appraisal: PRA）のデータをベースラインとして利用することにした。

活動1-3：アウトリーチクリニック³の開催

本事業対象コミュニティのうち、ORCの開催対象地となっている下記8コミュニティにおいて、ORCが70回開催され、母親グループとSIIPスタッフが協働で子どもの成長モニタリング活動を行った。

VDC	コミュニティ	回数
ダモウリ	マハディヤ（ワード1）	予防接種：5回（毎月） その他：5回（毎月）
	アヒラウリ（ワード7）	予防接種：5回（毎月） その他：5回（毎月）
	ドゥビハワ（ワード9）	予防接種：5回（毎月） その他：5回（毎月）
カマリヤ	デンチャハワ（ワード1）	予防接種：5回（毎月） その他：5回（毎月）
	グンダ（ワード7）	予防接種：5回（毎月） その他：5回（毎月）
	ハルナンプル/セマリ（ワード6/7）	予防接種：5回（毎月） その他：0回
マイナヒヤ	チャンクッタ（ワード9）	予防接種：5回（毎月） その他：0回
ハティ・パンガイ	マフワリ（ワード6）	予防接種：5回（毎月） その他：5回（毎月）

³ アウトリーチクリニック（ORC）とは、各VDCに一つずつ設置されているサブヘルスポスト（SIIP）或いはヘルスポスト（HP）スタッフが、同VDC内でも遠隔に位置するコミュニティに出張し、乳幼児予防接種や妊産婦健診などのプライマリヘルスケアサービスを提供する公共医療サービスである。原則として、月に予防接種の日とその他サービスの日（妊産婦健診、保健力カウンセリング）が各1日設定されており、それぞれにおいて体重測定を実施している。

活動1-6：ピア・エデュケーションの側面支援

先行案件から継続して活動を行っている16コミュニティでは、母親グループの中心メンバーである「アクションメンバー」約350人が中心となり、各コミュニティにおいて「乳幼児の健康」「家族計画」など6トピックについてのピア・エデュケーションを計252回実施した。16コミュニティにおける、月ごとのピア・エデュケーションの実施状況は下記の通り。

トピック/月	1月	2月	3月	4月	5月	計
安全な妊娠と出産	13	13	10	9	5	50
グループマネジメント	6	7	11	8	5	37
コミュニティ健康基金	7	17	11	9	10	54
緊急時の対応	4	6	7	4	7	28
乳幼児の健康	9	12	10	11	9	51
家族計画	6	9	6	6	5	32
月合計	45	64	55	47	41	252

活動2：衛生環境整備のための活動**活動2-1：衛生設備設置計画の策定**

4月15日～26日にスリランカより参加型コミュニティ活動計画策定専門家を招聘し、本活動の計画・実施方法について技術指導を行った。

先行案件から継続して活動を行っている16コミュニティで、コミュニティごとに、地域住民自身が行き組むコミュニティ衛生環境改善の活動計画を、母親グループメンバーが中心となり策定した。トイレ建設、排水溝整備、井戸（ハンドポンプ）の設置などが、特に優先度の高い課題として挙げられた。また、活動の進め方については、本事業や行政機関から予算を調達するだけでなく、コミュニティの各世帯からも出資あるいは労働力を提供する等の選択肢も検討され、コミュニティ住民自身が積極的に関わろうとする姿勢が伺えた。

なおネパール政府は、2011年に“Sanitation and Hygiene Master Plan”を策定しており、同計画では「2017年までにトイレ普及率100%達成」等を含む衛生環境目標に向けた各種政策を展開している。同政策に基づき、本事業対象地であるルパンデヒ郡でもトイレ建設や啓発活動等が進められていることから、本活動は同政策推進に寄与すべく、郡行政との連携を図り進めている。

活動3：コミュニティ基金の安定かつ継続した運営に係る活動**活動3-3：基金に係る貯蓄・貸出活動を側面支援する**

先行事業から継続して活動している16コミュニティでは、母親グループによる毎月の貯蓄活動が継続して行われた。毎月の貯蓄日には本事業スタッフも参加し、グループメンバーからきちんと集金されているか、集金したお金が正しく帳簿につけられているか、(貯蓄を原資に設立されている)健康基金からの貸し出しと返済率の計算が正しくできるかについてモニタリングした。なお、2012年1月から5月までの各月における貯蓄額と貸出額は下記の通りである。

	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	計
貯蓄額	37,190	43,230	39,350	30,825	50,425	201,020
貸出額	73,900	80,600	10,950	84,500	144,500	394,450

単位：NPR

なお、主な貸出の用途は、出産時の搬送費用や入院費用、乳幼児の医薬品購入費等で、当該期間に 155 人に対し貸し出された。

活動 4：一次診療施設（SHP）の改善に係る活動

活動 4-1：保健施設管理運営委員会（HFOMC）の能力強化研修を実施する

本研修では、ネパール政府保健政策に沿って開発された研修パッケージを使用することから、研修の開催日程や講師の招聘等について郡保健局と協議を行った。

活動 4-3：HFOMC の活動をモニタリングする

本事業では、月例ミーティングのモニタリング等を行い、各 HFOMC の状況把握に努めている。ルバンデヒ郡では保健局のイニシアティブにより、各 VDC における HFOMC の体制見直し及び強化が進められていることから、当該期間においては委員会メンバーの再選出が主要な活動となった。各 HFOMC における当該期間の主な活動は以下の通りである。尚、カマリヤとハティ・パンガイ VDC においては、委員長不在や政治活動の活性化等の理由により HFOMC の月例会議は開催されていない。

ダマウリ：

4 月を除き、毎月定例会議が開催された。1 月にメンバーの再選出を行った後、新メンバーによる体制の整備（名簿、ネームプレート、公印等の作成）がなされた。なお 3 月には「世界結核デー」に関連した啓発活動を実施し、4 月以降は子宮脱の啓発イベント実施にかかる協議を行っている。

マイナヒヤ：

5 月に委員会を招集し、新メンバーの選出を行った。

活動 4-4：ハティ・パンガイ SHP の基盤整備

本事業計画当初、ハティ・パンガイの保健施設は SHP として建設される予定であったが、その後ネパール政府保健人口省により、同施設を HP に機能拡張することが決定された。これを受け、本事業申請とは異なる規格の建物を建設する必要が生じたことから、今後の対応を郡開発局・郡保健局と再度協議を行っている。

(3) 達成された効果	- 事業開始からまだ5ヶ月しか経過しておらず、期待される成果の達成度を図るには時期尚早であるが、先行案件からの16コミュニティでは、母親グループが主体となって、ピア・エデュケーション、健康基金の運営等の活動が継続して行うなど自立発展性が高まっている様子が確認できた他、ピア・エデュケーションを通じて、妊娠中の危険兆候を自覚できる、医療施設での分娩を望むようになる等の効果が確認されている。 - 活動の継続に伴ってコミュニティ内での理解が深まり、グループメンバー達の活動に対して家族（姑や夫）からのサポートが得られるようになる等、女性の地位向上に寄与するインパクトが確認されている。 - 母親グループが中心となって、コミュニティの衛生環境整備活動計画を策定し、コミュニティ住民が活動に参加する等、母親グループのイニシアティブが地域社会に広く正のインパクトとして波及している様子が確認されている。 - 新たに活動を開始する20コミュニティでベースライン調査を実施し、コミュニティごとに異なる社会的特性などについて把握できた。特に、本事業対象地のように、民族別もしくはカースト別に異なる伝統・慣習が残っている地域では、それら特性を把握した上で、コミュニティの各層に配慮した事業介入を行うことが、事業成果の発現に非常に有効であると考ええる。 - アウトリーチクリニックの開催（活動1-3）では、保健医療知識を持つSHPスタッフが低体重児の母親に対してその場でカウンセリングを行っており、低体重児の栄養改善に加え、母親グループメンバーが保健医療知識を学ぶ機会となっている等の相乗効果が確認できている。
(4) 今後の見通し	活動0：プロジェクトマネジメントに係る活動 引き続き、会合開催や報告書の提出を通じ、省庁・郡・VDCの各レベルでよりよい協調関係を維持する。省庁レベルについては、社会福祉協議会と当法人ならびに事業パートナー団体による合同事業評価の実施を予定している。また、事業内容や母子保健コンセプトを広く地域住民に周知するための広報活動も展開していく。 活動1：MGメンバーの母子保健知識・能力向上に係る活動 新規20コミュニティでは、ベースライン調査終了次第、母親グループを結成（再結成）し、中心的メンバーとなる「アクションメンバー」を選出する。また、アクションメンバーへの研修開催やORCとの連携強化を図る他、妊婦・産後健診の受診促進やコミュニティ啓発活動開催を側面支援していく。 活動2：コミュニティにおける衛生環境整備に係る活動 策定された活動計画に基づき、衛生環境整備活動を推進する。なお、地方行政による衛生環境整備事業の下で結成されている「VDCレベルの衛生環境整備委員会」と連携し、活動を推進していく。 活動3：コミュニティ健康基金の継続的運営に係る活動 全36コミュニティの母親グループを対象に、運営管理能力のレベルに応

	じた「基金管理運営研修」を開催する。また、郡女性福祉局とも連携しながら帳簿管理能力向上を目的とした「識字・計算教室」を開催する。 活動 4：公的・一次医療機関における基礎保健サービス改善に係る活動 郡保健局との調整が終了次第、HFOMC 能力強化研修の実施を行う。研修中に策定される活動計画を基に、委員会の活動に対し側面支援を行っていく。また、規格が HP にアップグレードされたハティ・バンガイ SHP 建設については、今回は HP 規格での建物建設へは支援せず、ORC の拠点となる小規模な建物を建設する等、他のニーズについても郡保健局と協議・検討していきたい。
--	--